



ROCK FIELD

R E P O R T

第 4 4 期 の ご 報 告

平成 27 年 5 月 1 日 ~ 平成 28 年 4 月 30 日

The Mirai Salad Company

ROCK FIELD

証券コード : 2910

もっと良いSOZAIを創ろう

代表取締役会長 兼 社長 岩田 弘三



私は、1965年に13席のカウンターだけの小さなレストランから食ビジネスを始め、7年後の1972年6月8日、株式会社ロック・フィールドを創業しました。食ビジネスに関わって半世紀余り、ロック・フィールドを創業してから45期目を迎えています。多くの株主の皆様、お客様、お取引先様、そして、何よりも多くの従業員に支えられて、今日を迎えることができたことを本当に感謝しています。

惣菜ビジネスを始めた頃は、惣菜には今日ほどの社会からの需要も、お客様からの評価も得られませんでした。それでも、商品を変え、ブランドを変え、マーケットを変えながら、数多くの失敗と成功を繰り返しながら、今日では、またこれからの未来においても、少子高齢化、女性の活躍、老後の豊かな暮らしに無くてはならないものとして私たちのビジネスが存在感を増し、さらに社会に貢献していきたいと思えます。

私たちは、2001年に静岡に、2006年には神戸に企業内保育室を創設しました。保育室は、「保育中に事故が起きたらどうするのか。」とか、神戸でスタートする前には「社員アンケートをしたが、そういうニーズはありません。」と否定的な意見が大半でした。それでも将来きっと必要となるということで創設しました。当時は世の中も関心が薄かったように思います。しかし、今このことが当社の大きな財産となり、企業価値向上に繋がり、同時に静岡や神戸で働く従業員の信頼を得ることに繋がっていると思っています。

女性の活躍、共働きが当たり前になって、今や保育は大都市における待機児童問題をはじめ大きな社会的課題になってきました。私たちはこども達の保育、食育を含めていち早く保育室を創設して、こうした課題に向き合ってきました。

当社のサラダの基幹工場である静岡ファクトリーでは、かつて原っぱだった敷地に、第1期から第2期、第3期とファクトリーの拡大と共に緑化を進め、見事な緑あふれるファクトリーパークに変わってきました。とりわけ1993年に従業員、会社の成長を願って当時の従業員

数に合わせて植樹した240本の次郎柿の苗木は、堆肥、水やり、剪定、摘果、接ぎ木をはじめ、丁寧な日々のお世話で、桃栗3年、柿8年と言われるように、8年目からは見事な秋の実りをつけるようになりました。こうした工場緑化の功績で経済産業大臣賞も受賞させていただきました。

静岡ファクトリーの株主見学会において、緑豊かな植栽とビオトープ、風力発電を目にされた株主の皆様からも、この環境の中から作られるサラダに一層の評価をいただくようになりました。

保育室も、静岡の次郎柿や工場緑化も、「もっと良くしていこう」とやってきたことが、結果として誰が見ても何かを感じさせるものになっています。こうしたことが社会から価値ある取組みをしているとの評価に繋がっていると私は思っています。

一番大事なことは、私たちの惣菜ビジネスを通してまだ見えない価値を掘り起し、先取りして、すべての商品を昨日より今日、今日より明日と、もっと良くしていこうとし、もっとお客様が喜ばれるようにしていくことが大事なのではないかと思えます。

この45期は、立地毎に販売方法の変革や朝食の強化、キッズ、シニアを明確なターゲットにした商品開発にも取り組んでまいります。そして、この1年、様々な試行錯誤を通して、46期からの中期経営計画の根拠を創る1年にしていきたいと思います。

先進国の中でいち早く訪れた少子高齢化と人口減、課題が山積の日本ですが、この45期においては、節目となる50期に向けて中期経営計画をしっかりと策定し、ここまで築き上げてきた経営基盤をより盤石なものに変えていくスタートの年にしていきたいと思えます。

「もっと良いSOZAIを創ろう」、「もっと良いサービスをしよう」、「もっと良くしていこう」としていくことが一番大事だと思っています。

45期、是非ともそういう気持ちで、全社を挙げて会社を「もっと良く」していきますので、どうかこれからもよろしくご支援をお願いいたします。

平成28年7月

財務ハイライト

※第40期は連結子会社がなかったため、単体決算の数値を記載しています。

1 お客様にいつでもご満足いただける
売場づくりに継続して取り組みました。

- 商品価値をお客様にしっかりと伝える
- 閉店間際までしっかりと商品を充実させる など

2 店舗のリニューアルにおいて、
新たな店舗形態や立地に合わせた
品揃えに取り組みました。

- 従来の量り売り販売を中心とした店舗形態から
パック化した商品を中心に販売する店舗形態に挑戦
- RF1 ブランドからグリーン・グルメブランドへの
転換を行う など

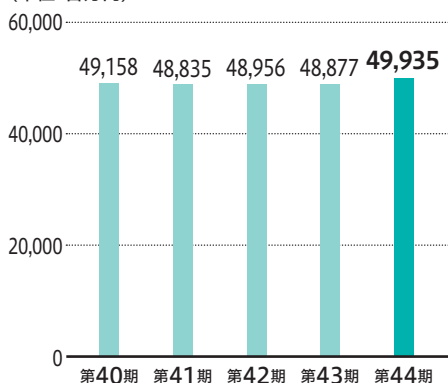
3 素材や調理法にこだわった高付加価値商品を積極的に導入し、
お客様からご支持をいただき、売上高の確保に繋がりました。

売上高

49,935百万円

(前期比2.2%増)

(単位:百万円)

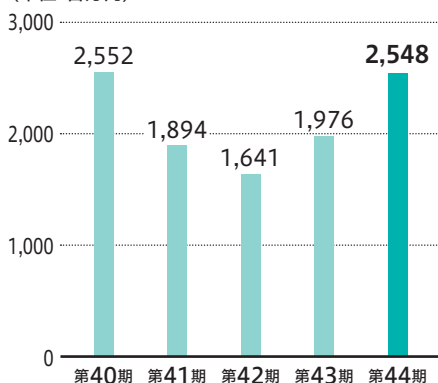


営業利益

2,548百万円

(前期比28.9%増)

(単位:百万円)

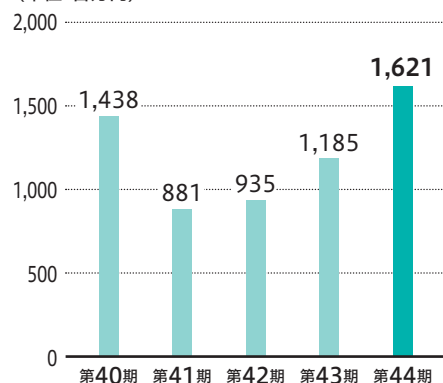


親会社株主に帰属する当期純利益

1,621百万円

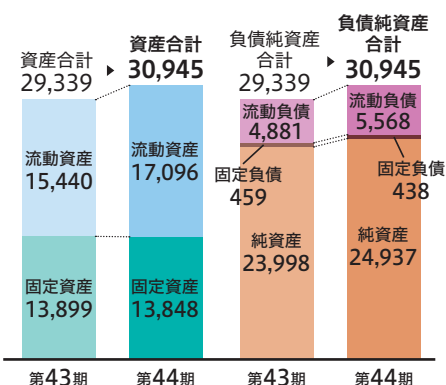
(前期比36.7%増)

(単位:百万円)



連結貸借対照表の概要

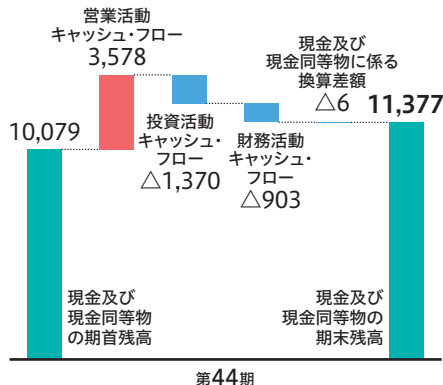
(単位:百万円)



連結キャッシュ・フローの増減要因

(単位:百万円)

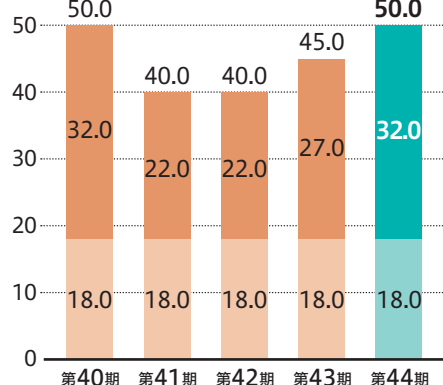
■ 増加 ■ 減少



1株当たり配当

(単位:円)

■ 中間 ■ 期末



〔第44期末〕自己資本比率 80.6%
1株当たり純資産額 938.91円

ブランド別売上高概況

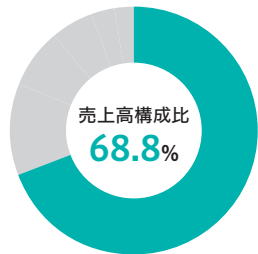
第44期（連結）



アール・エフ・ワン

171店舗

売上高 **34,351** 百万円
(前期比**1.1%**減) ↓



- 食と健康をテーマにサラダを中心とした健康的な食生活を提案しました。
- 旬の野菜や帆立、マグロ、タコなどの素材を使った季節商品、イベントに合わせた特別商品の展開などにより季節感を感じていただける食卓提案を行いました。
- サラダのパートナーとして、従来のフライメニューに加え料理メニューの育成として新商品提案を継続して行いました。
- 料理メニュー専門の店舗である「Au Bon Deli（オーボンデリ）」の出店を行いました。



緑の30品目サラダ



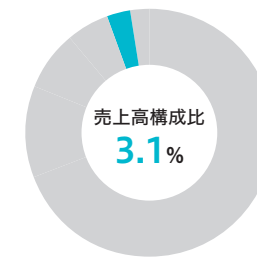
真イワシとポテトのロースト
焦がし醤油バター風味



ベジテリア

26店舗

売上高 **1,551** 百万円
(前期比**6.1%**減) ↓



- お客様の健康サポートをテーマに、日常的な野菜の摂取を促すため、ジュースとして飲みやすい野菜や高機能・高栄養の野菜、旬の野菜を使用したジュースの積極的な展開を行いました。
- リーフレットで商品の情報や旬の野菜の紹介、野菜の栄養、野菜の賢い取り入れ方を紹介するなど情報発信を継続して行いました。



濃厚 緑の30品目



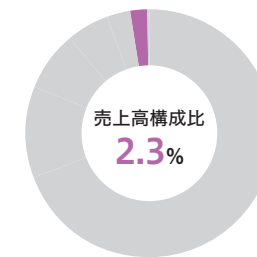
海老と蟹のやさしいビスク



融合
アジアン・サラダ 融合

11店舗

売上高 **1,133** 百万円
(前期比**17.1%**増) ↑



- アジア料理をより身近に感じていただくため、アジアの代表的な食材であるパクチーやセロリなどの特徴的な素材を使ったサラダや、旬などの旬の素材を使用したサラダの展開を行いました。
- 平日と週末で異なるお客様のニーズに合わせた品揃えや価格帯の商品提案を行いました。



蒸し鶏とパクチーのやみつきサラダ



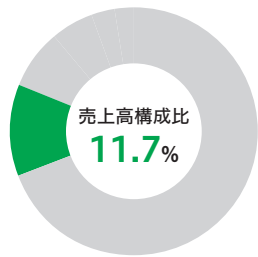
海老入りパンクン



グリーン・グルメ

46店舗

売上高 **5,855** 百万円
(前期比**26.5%**増) ↑



- RF1、いとはん、融合などの商品を組み合わせたセレクトショップとして、各ブランドから季節に合わせた商品の幅広い品揃えを行いました。
- パクチーや筍などの素材を使った融合のサラダの展開を特に強化するなど、お客様のニーズに合わせた売場づくりを行いました。
- 前期よりRF1からグリーン・グルメへの業態変更を11店舗行った結果、売上高760百万円がRF1からグリーン・グルメの売上高となりました。



たっぷり海の幸の美味サラダ



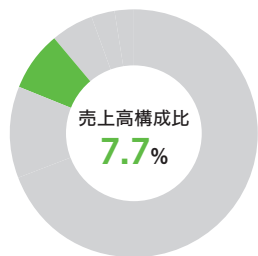
柔らかロールの黒酢豚



いとはん
日本のさらだ いとはん

31店舗

売上高 **3,819** 百万円
(前期比**6.6%**増) ↑



- 季節の移ろいを感じていただける旬の野菜を使ったサラダや、週末のニーズに合わせた和風のソースで味付けをしたローストビーフのサラダの展開を行いました。
- ライフスタイルの変化に合わせた日持ちのする商品として、野菜とおだしを味わうメニューや和風のロールキャベツなどの提案を行いました。



ローストビーフと香味野菜の和のソース仕立て



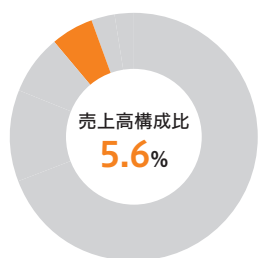
まるごとこかぶのおだし仕立て



神戸コロッケ

38店舗

売上高 **2,801** 百万円
(前期比**6.9%**減) ↓



- コロッケの品揃え強化として、新玉ねぎや空豆など旬の素材を使用したコロッケの展開を行いました。
- 新たな取り組みとして、油調理を行わず焼成を行ったベイクドコロッケや節分には揚げた恵方巻きなどお客様に驚きを感じていただける提案を行いました。



シンプルなじゃがいもコロッケ



空豆と筍のコロッケ

夏のNEWサラダ登場!

RF1では、夏ならではの素材・テイスト・組合せによる季節サラダの提案を行います。夏の食卓を彩るサラダメニューをぜひご賞味ください。

新商品の
ご紹介



柑橘・パインとヤリイカのサラダ
バジルの香り 100g ¥497(税込)

香ばしくグリルしたヤリイカとフルーツが好相性。バジルの香りやレモネードのジュレの甘酸っぱさが食欲をかきたてる夏にぴったりのサラダです。

商品の展開期間 7/28 (木) ~



帆立と海藻のサラダ
雲丹の香り 100g ¥540(税込)

雲丹醤油で和えた帆立とオクラ、茎わかめといったネバネバ食材が好相性。ビールや日本酒との相性も抜群の夏におすすめのおかずサラダです。

商品の展開期間 8/4 (木) ~

保育室を通じた「食育」の取り組み

ロック・フィールドの考える食育とは

食と言う字は、「人に良い」と書きます。戦後の高度経済成長を経て、日本は大きく発展し欧米化が進んできましたが、少子高齢社会の中で国の医療費が40兆円、介護費が10兆円を超え、生活習慣病の中で糖尿病予備軍の人が950万人とも言われる中、バブル崩壊から失われた20数年の中で食の有り方が問われる時代になりました。

これからは、高度経済成長を支えた団塊世代の人たちに向けて、また育ちざかりの子ども達へ向けての豊かな食生活の提案、そして、より良い生活習慣をつくるための食の提案が求められると考えます。

ロック・フィールドは、食事とは、人を良くする事と考え「人に良い、食を提供し、人々の健康づくりに貢献してまいりたいと考えています。



5月12日(木)MBS「ちんぷいぷい」の「ANDOTZアール」でロック・フィールドが紹介されました！
安藤忠雄氏と岩田会長との対談では「ロック・フィールドの食育」について熱く語られました。(関西圏のみ放映)

栽培・収穫



保育室では、毎年季節に合わせた10種類から15種類の野菜や果物の種や苗を子ども達と一緒に植えて、菜園作りに取り組んでいます。丁寧に水やりを行うと芽が出て太陽の光を浴びてどんどん育つ様子に、どの子も興味津々。育てた野菜や果物は子ども達自身で収穫し、一緒に調理にも挑戦しています。人参やピーマンやキュウリが嫌いな子ども達も、自分たちで育てた野菜は格別なようで、好き嫌いをなく食べられるようになっており、食育の素晴らしさを感じます。

ハロウィン

スイカ割り大会



ロック・フィールドの保育室では、四季や歳時記に合わせたイベントを毎年行っています。7月には、菜園で育てたスイカを使って、役員や保護者を交えた「スイカ割り大会」を行い、大いに盛り上がります。10月のハロウィンではオフィス内の各部署を仮装した子ども達が「トリック・オア・トリート！」と言いながら練り歩き、社員からお菓子をもらいます。

静岡ファクトリーの風車の丘保育室では、冬の風物詩として恒例の芋ほり大会があります。収穫したじゃがいもは「かまど」を使って蒸かし、ホクホクのアツアツをその場で頬張る子ども達は、大興奮でとても満足しているようです。かまどを使った食の経験は、今の時代では非常に貴重な経験になると感じています。

芋ほり大会



企業内保育室での食育の取り組み

2001年6月、静岡ファクトリーに「風車の丘保育室」を開設し、以来当社で働く子育て世代の従業員をサポートしてまいりました。保育室のモットーを「いっぱいあそんで、おなかをすかせ、おいしくいただく」と掲げ、自然との触れ合い、地域農家との交流を通して、食を身近に感じながら保育を行い、今年で15周年を迎えました。

一方、神戸ヘッドオフィスの「元気の木保育室」は、2006年に開設し、静岡で培った保育と食育への想いを脈々と受け継ぎ、今年で10周年を迎えます。今回は、保育室の日常や四季折々のイベントも交えて、保育室での食育の取り組みの一端をご紹介します。

案山子づくり



静岡ファクトリーの風車の丘保育室では、田植えの時期になる前に、子ども達と「案山子」を作ります。2007年から毎年続けており、作った案山子は近隣の農家に届け、田んぼの真中に置いて「美味しいお米が出来ますように」とお願いします。秋には案山子を置かせてもらった農家の方から「みんなの作ってくれた案山子のお蔭で鳥さんに食べられずに美味しいお米ができたよ」と新米をおすそ分けしてもらえるようになりました。子ども達とさっそく新米をいただきます。美味しさを感じることから、お米を大切にしようとする心が育まれるように思います。

人を大切にする風土と文化をつなぐ

食は「人を良くする」と書くように、私たちの食育の思いの根底には、人を大切に育てる思いがあります。

少子高齢社会は日本の将来に確実に迫ってきております。子供の食育と同じくらいシニアの食についても深刻な問題になってきております。「The Mirai Salad Company」を標榜するロック・フィールドは、「食と健康」をテーマに掲げた取り組みにこれからも、真摯に誠実に取り組んでまいります。

トピックス 環境保護活動への協賛の取組み



The Mirai Salad Company

ROCK FIELD

「環境」を経営の価値観に謳う当社は、2016年6月、職業・社会体験施設のキッズニアが主催する、「Kids for a Greener World～今日から始めるエコ活動～」に協賛出展いたしました。これは、キッズニアに協賛しているスポンサー企業各社が実施している環境保護活動の中で、4R (Refuse=断る、Reduce=減らす、Reuse=繰り返し使う、Recycle=再利用) と「環境の国キッズニア」をリンクさせ、子ども達に環境保護について考えてもらうきっかけづくりとして行われている活動です。

当社は、サラダやコロッケに使うじゃがいもを、輸送燃料の少ない国産のものにこだわり、収穫後の配送には繰り返し使える鉄のコンテナを使いゴミを出さないようにしていることを、ポスターにして伝えました。また、工場でのごみの分別や、社員食堂でとうもろこしから作られたつまようじを使用していることなど、当社のリサイクルの取組みをクイズ形式で学んでもらえるようにしました。

今後も、人と地球にやさしく環境保護活動に貢献する経営を進めて参ります。

株式会社ロック・フィールドの環境保護活動について知ろう

ジャガイモを安心安全に届けるために

野菜は外国から買うと、日本に持ってくる時に、石油などの燃料を使い環境に優しくありません。だから私たちは日本の生産者から仕入れています。私たちがサラダやコロッケに使うジャガイモは、北海道の農家の方に安心・安全にこだわって作ってもらっています。秋の収穫時には、「茎葉処理機」という機械を使って、農薬を使わず茎と葉を粉々にしてから収穫し、雲のかまクラのような倉庫で収穫後も美味しくなるように温度と湿度を管理しています。ジャガイモなどの野菜を産地から工場まで運ぶ際には、何度も繰り返し使えるコンテナを使い、ゴミを出さないようにしています。また、工場から出たごみは17種類に分別してリサイクルし、生ごみは肥料や飼料として使っています。



Learn exciting Environmental Protection Actions with ROCK FIELD CO., LTD.

You can trust our potatoes.

By purchasing vegetables from Japanese farmers, we just fuel consumption for transportation. Potatoes that we use for our salads and croquettes are produced and supplied by a Farmer in Hokkaido with great attention to safety and quality. Our crops are harvested without using pesticides and transported in reusable containers to reduce waste.



ROCK FIELD

株式の状況

(平成28年4月30日現在)

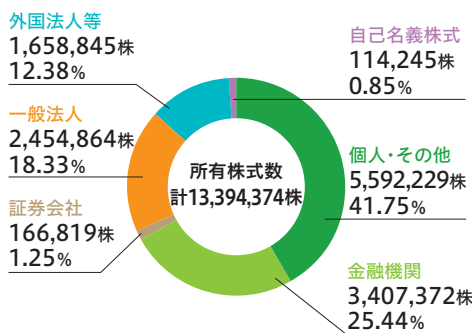
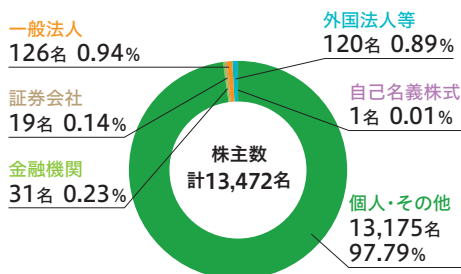
発行可能株式総数 ----- 40,000,000株
 発行済株式の総数 ----- 13,394,374株
 単元株式数 ----- 100株
 株主数 ----- 13,472名

※平成28年4月14日開催の取締役会の決議により、平成28年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって分割を行っています。これに伴い、発行済株式の総数は26,788,748株となっております。なお、発行可能株式総数、資本金の額の変更はありません。

大株主

株主名	持株数(株)
株式会社岩田	1,150,000
明治安田生命保険相互会社	656,300
ロック・フィールド取引先持株会	624,940
株式会社四国銀行	621,460
岩田弘三	392,100
ロック・フィールド社員持株会	283,097
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	244,900
三菱UFJリース株式会社	241,032
株式会社みなと銀行	206,560
東京海上日動火災保険株式会社	206,184

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
 定時株主総会 7月
 剰余金の配当基準日 期末 4月30日 中間 10月31日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 連絡先 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話(通話料無料)0120-094-777
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告方法 電子公告 (http://www.rockfield.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

住所、氏名のご変更、単元未満株式の買取請求・買増請求等のお手続に関するお問い合わせ、お手続に必要な書類のご請求等は、お取引の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株式に関するお問い合わせ等は、上記株主名簿管理人(特別口座管理機関を兼任しております) 連絡先までご連絡ください。

会社情報

会社概要 (平成28年4月30日現在)

社名 株式会社ロック・フィールド
 設立 昭和47年(1972年)6月8日
 神戸 〒658-0024
 ヘッドオフィス 神戸市東灘区魚崎浜町15-2
 TEL.078-435-2800(代表)
 FAX.078-435-2805

資本金 55億44百万円
 従業員数 1,505名
 子会社 株式会社コウベデリカテッセン
 岩田(上海)餐飲管理有限公司

役員 (平成28年7月28日現在)

代表取締役会長兼社長 岩田 弘三 常勤監査役 岡 吾郎
 専務取締役 古塚 孝志 社外監査役 奥田 実
 専務取締役 細見 俊宏 社外監査役 石村 孝男
 取締役 伊澤 修
 社外取締役 堀場 厚
 社外取締役 寺田 千代乃